

美少女妄想館









ああつ...
そそんなあつ

どうしたの?
いつもここで
オシッコする
でしょう?

えっ?

さあポチ
いつもの所よ

こんな姿
人に見られたら
おしまいだわ...

えっ!?

さあポチ!!
いつものように
お散歩に
行きましょお!!

さあ
足をあげて...

シャアアア...
あああ~~~~

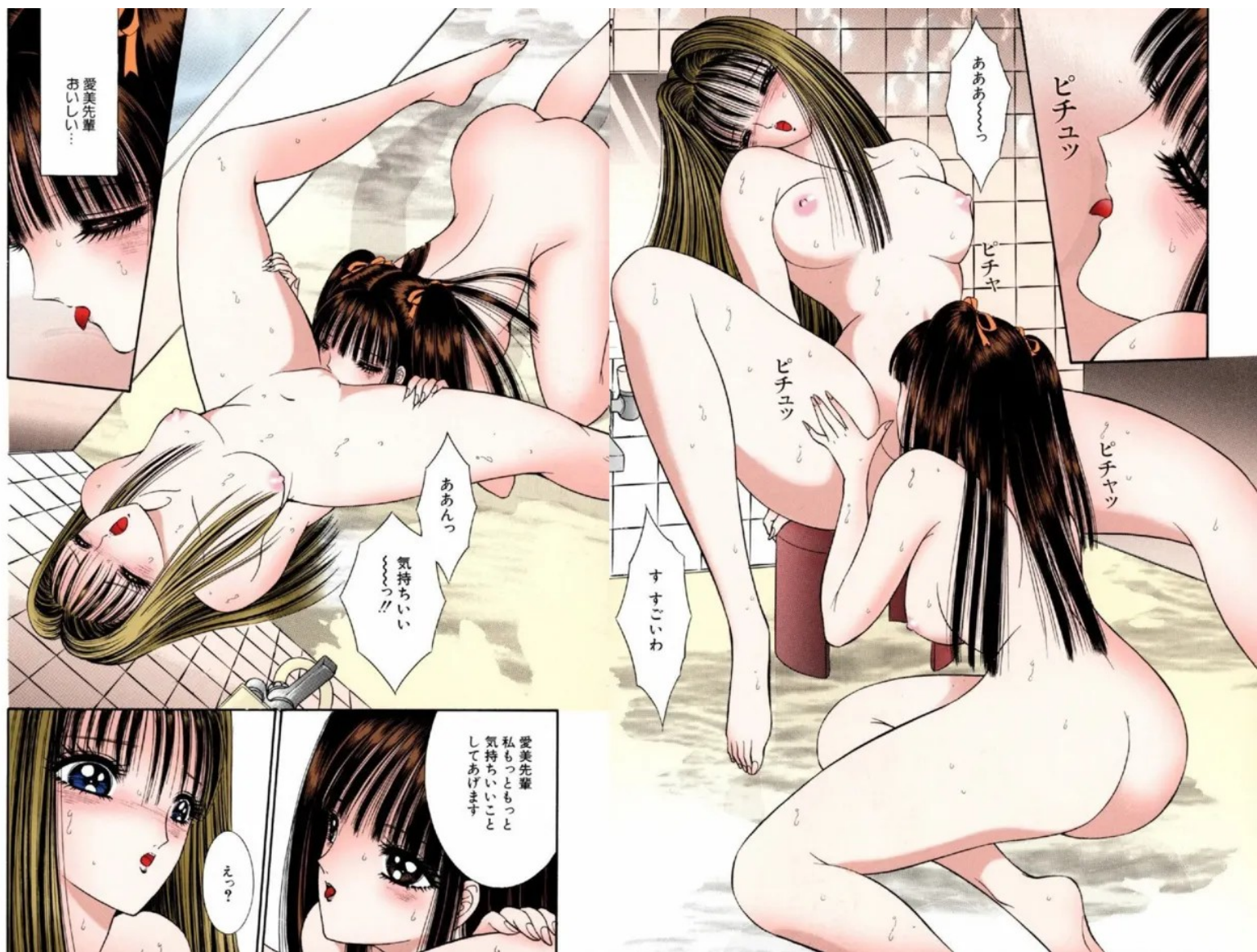
でも
愛美先輩の
いいつけなら
私.....

でもさながら
逃げたのなら
愛美先輩に
嫌われちゃう.....

わ私...
このカッコーで
外に出たら
まずいのでは...

何いつてるの
いつもこのままで
お散歩するでしょ?

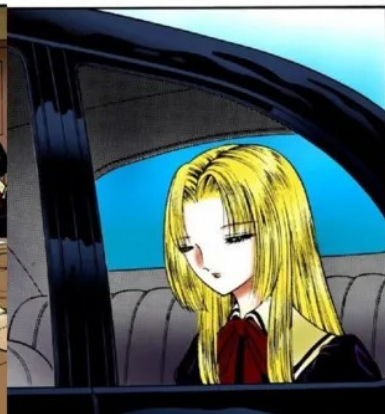
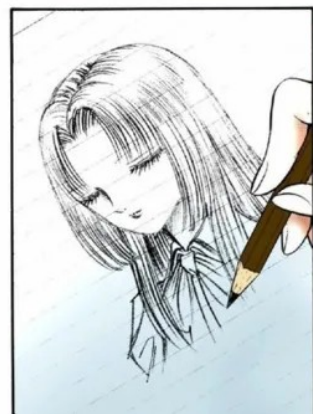
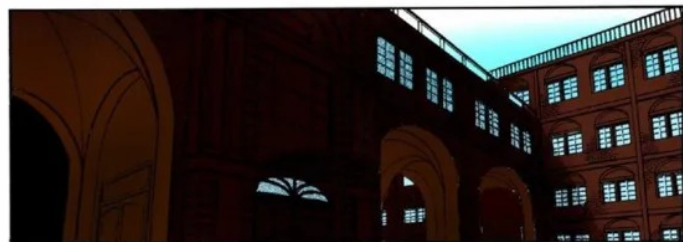
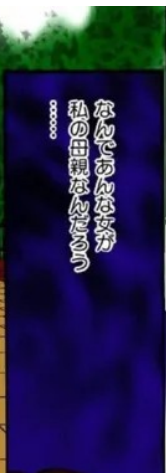




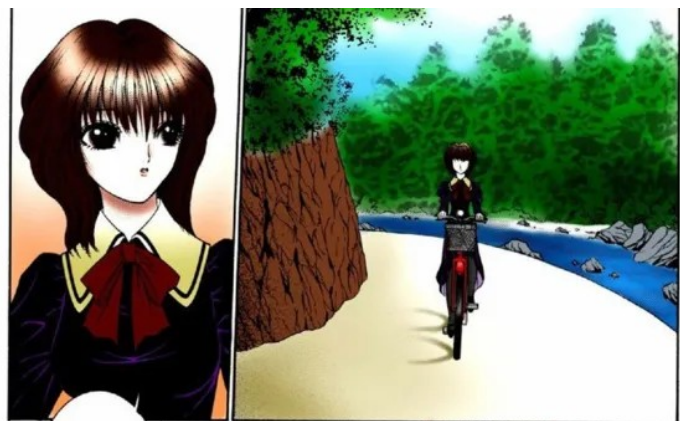






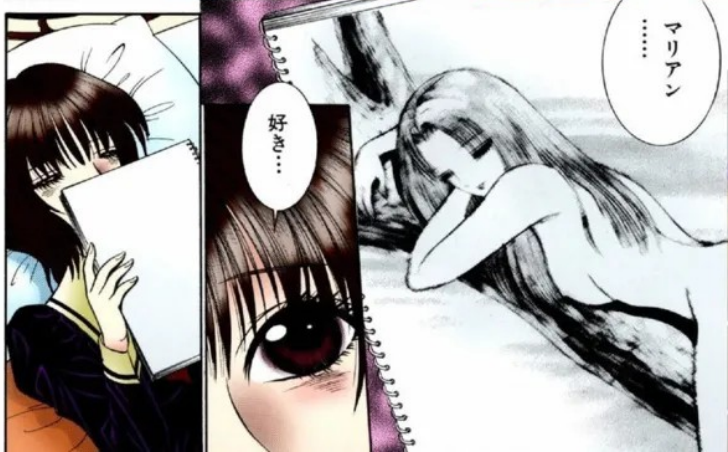
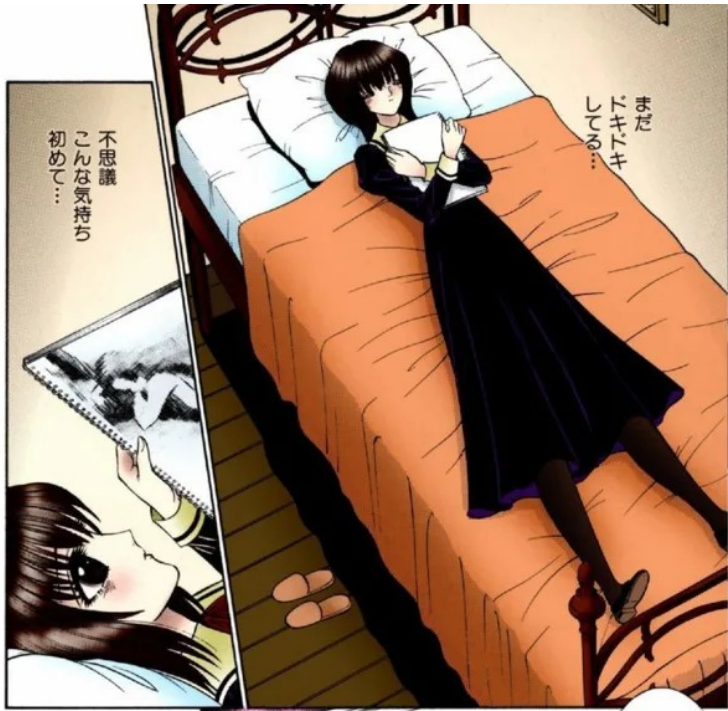




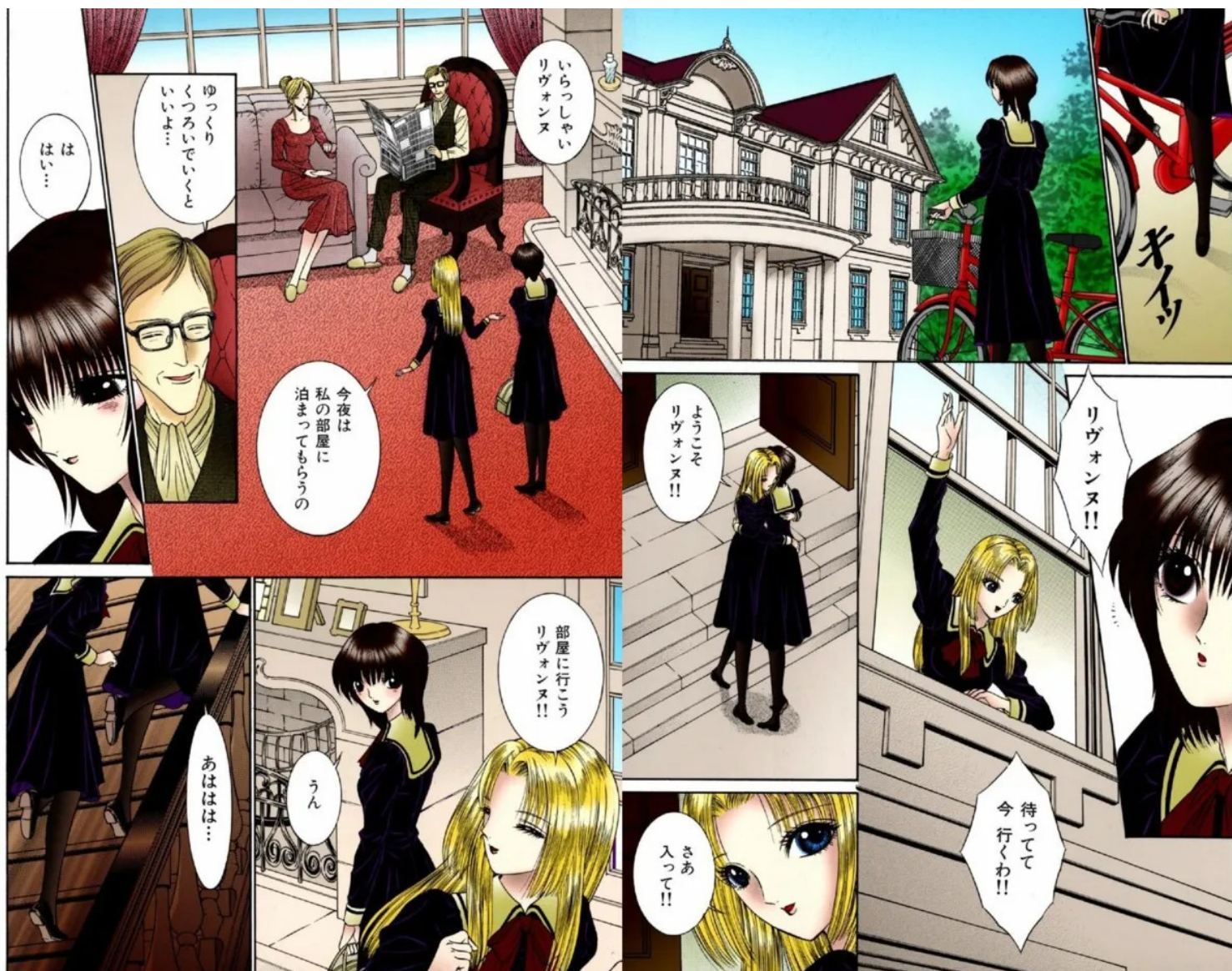






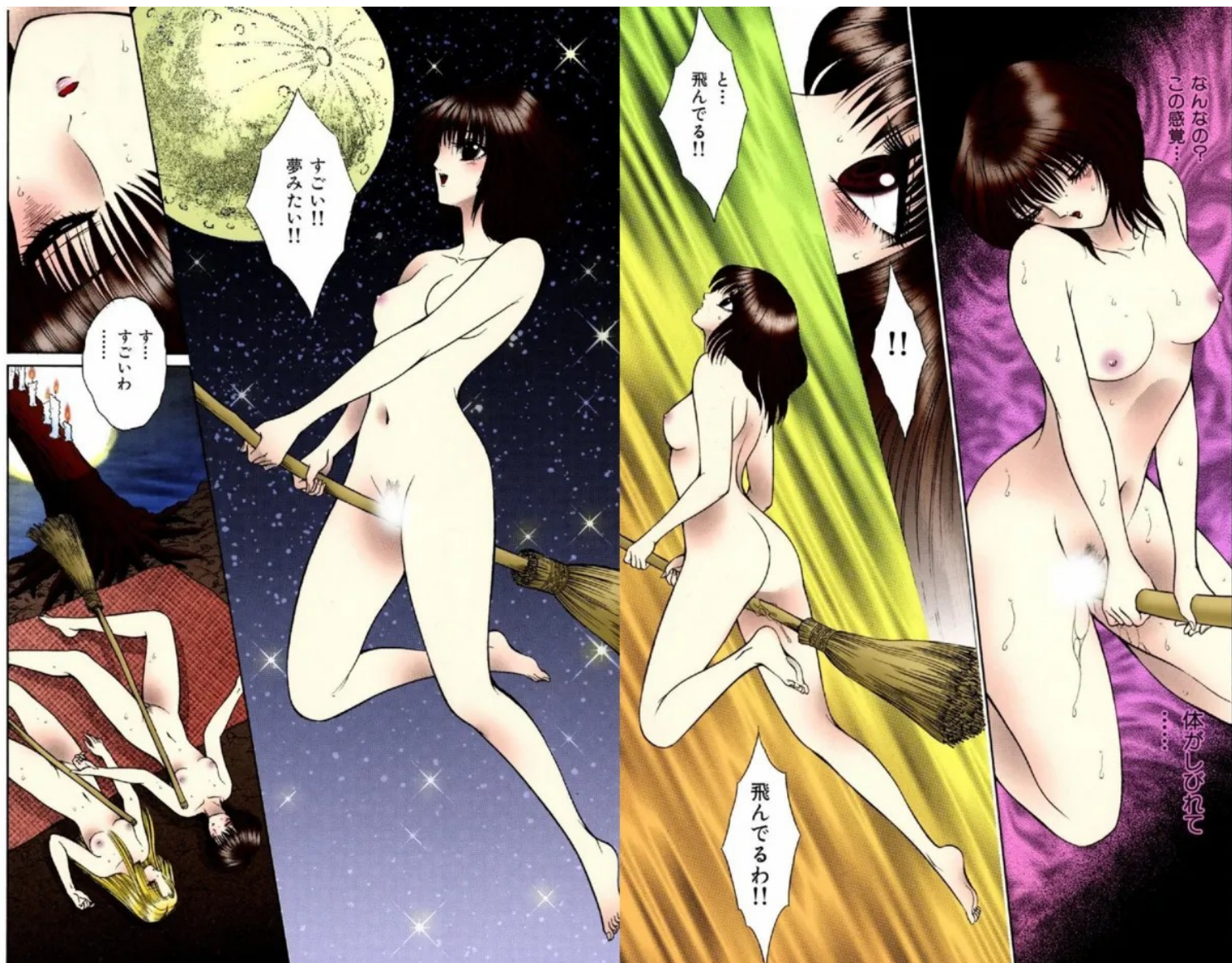


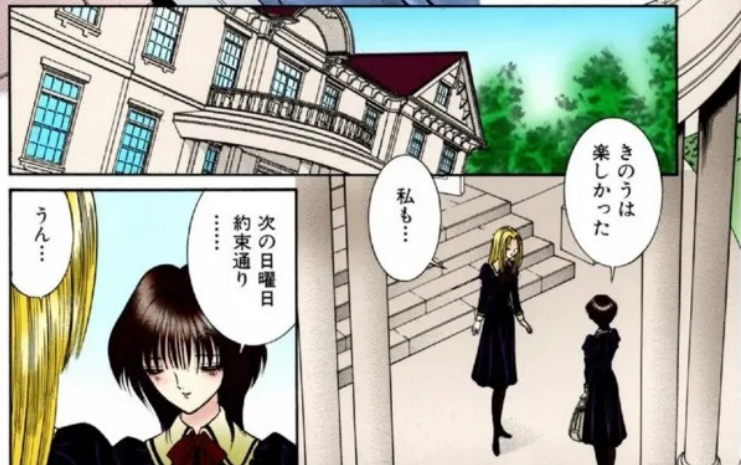


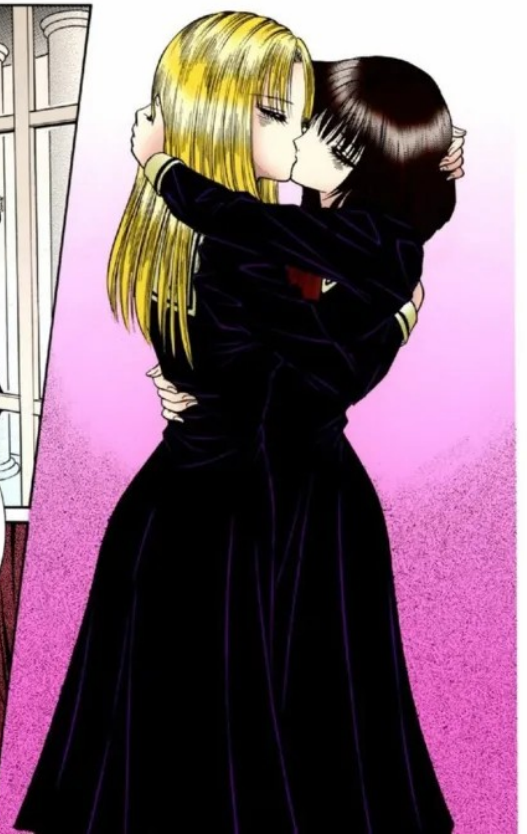




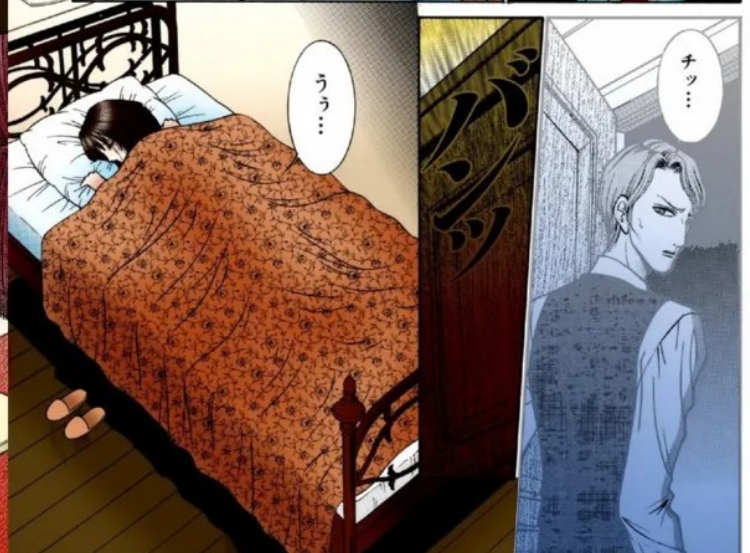
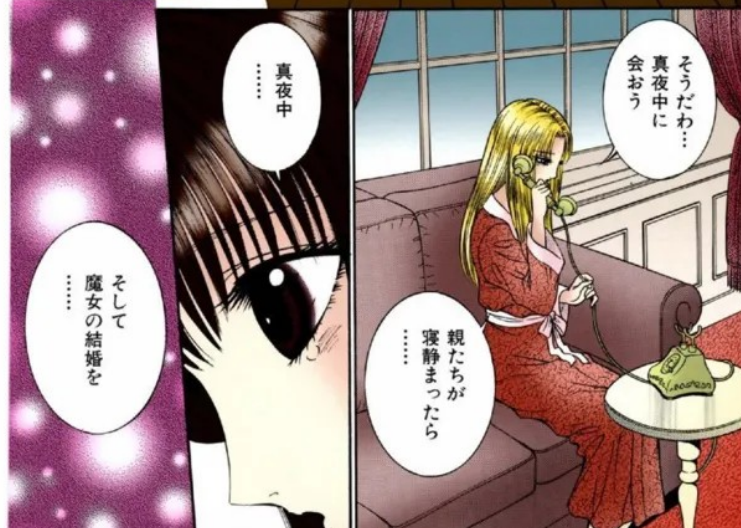
















心と身体が
溶けていく感覚
……

私とマリアンは
今ひとつになつて
混ざつていく……



えっ!?

本気なの?
リヴェオンヌ

私たちの愛を
守るためには
それしか
方法がないの……

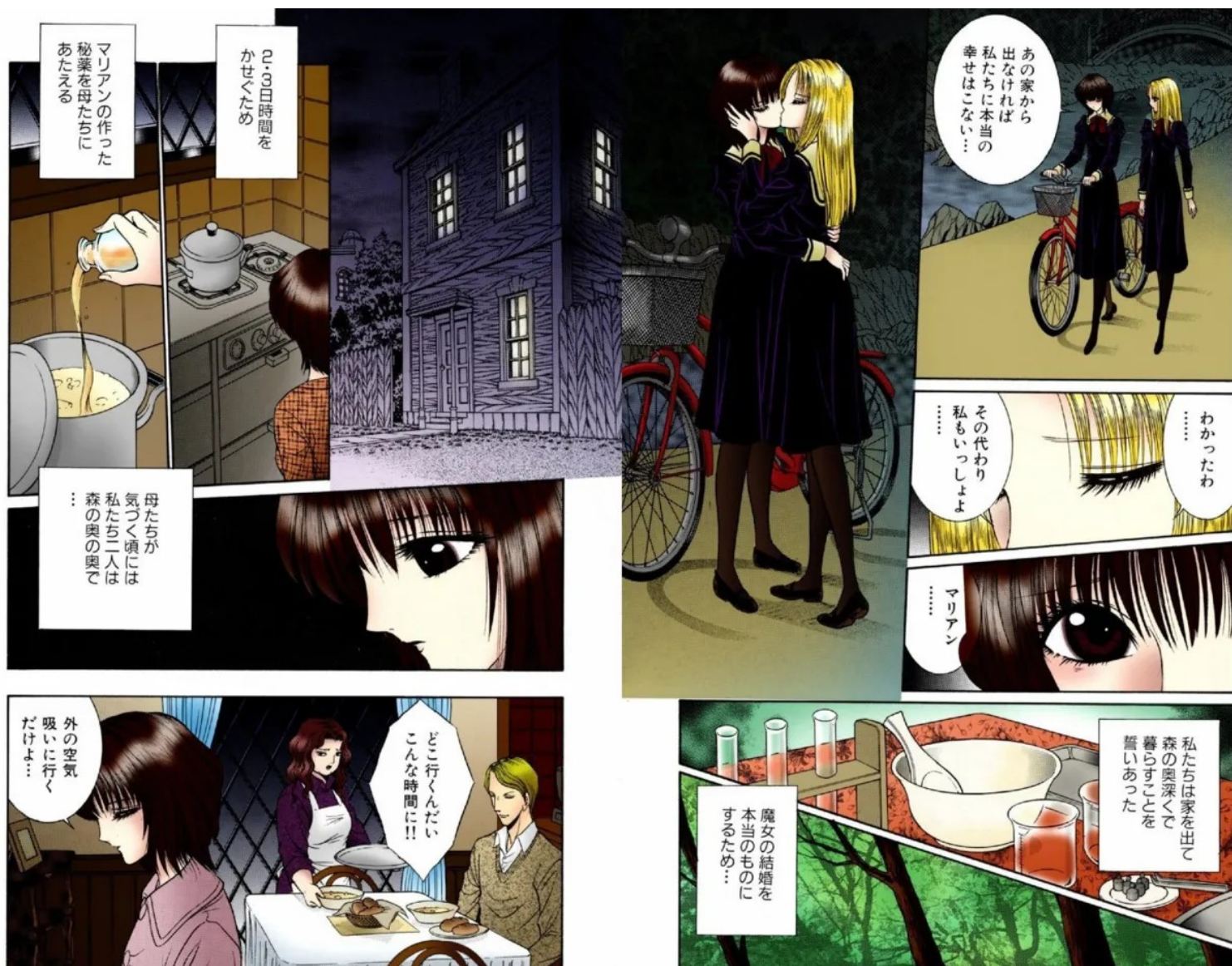


私の処女は
マリアンに
捧げられた

クチュ……

マリアンの
美しい指を
私の中で感じる

快樂の波が
何度も何度も
しびきをあげる





もしも
捕まったら



私たち
引き離されて
しまうのかな...

たとえ
そうだったとしても
私たちの心までは
引き離せないわ



永遠に
.....

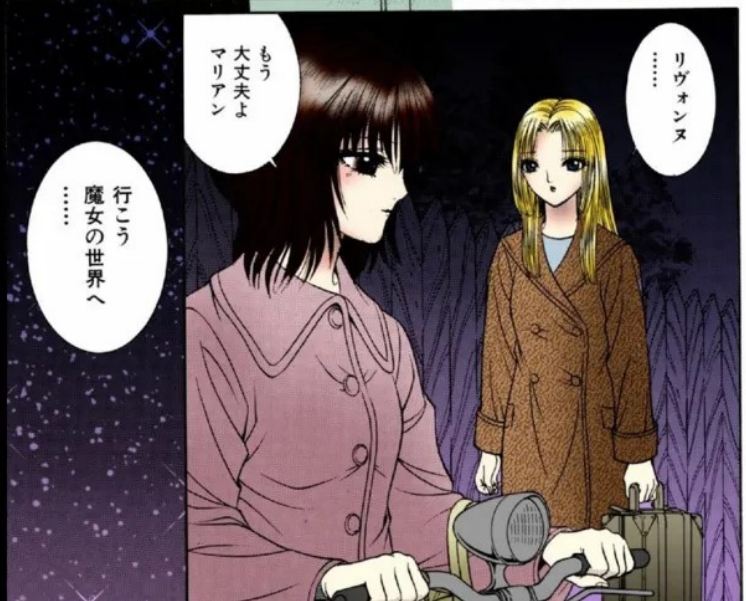
Fine



夕食は!?



いかない...

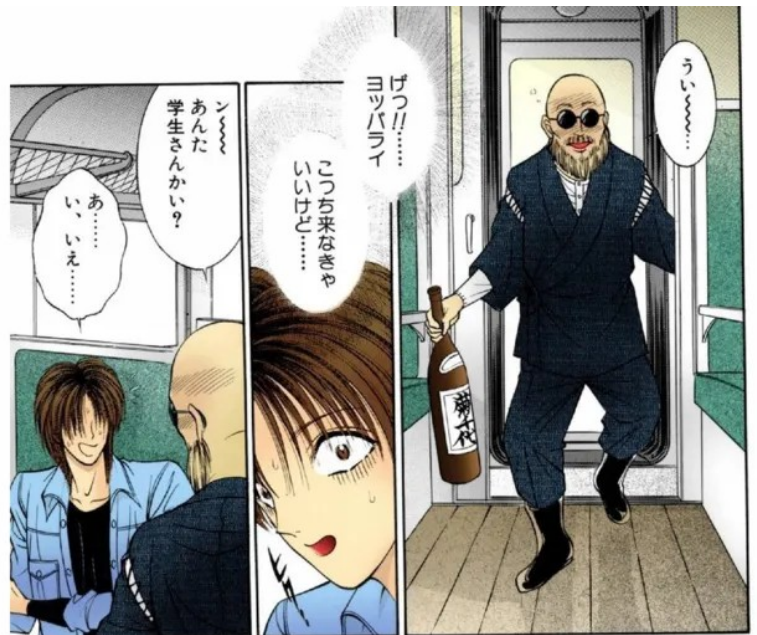


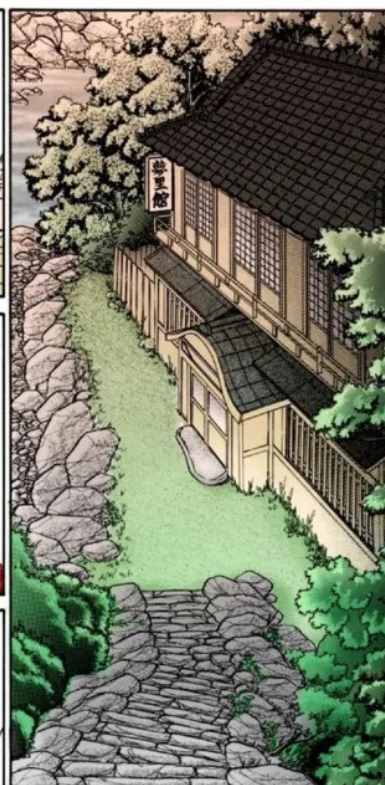
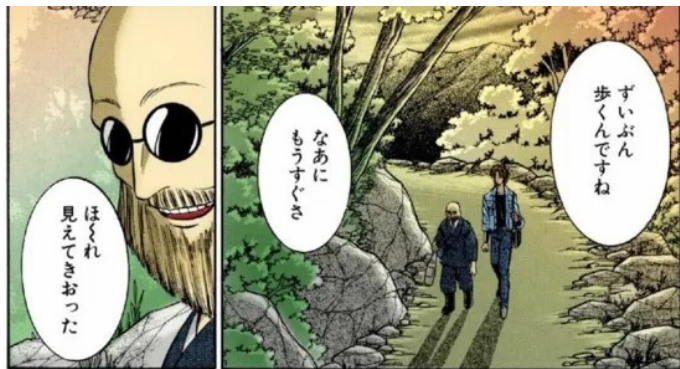
リヴ
オンス
.....

もう
大丈夫よ
マリアン

行こう
魔女の世界へ
.....









昔はこの旅館にも
何人か湯女がいたんだ
そうですけど……
今は母だけになって
しまつて……

母は私にも
湯女の仕事を
やってはしがつて
いるんですけど
……

自信なくて

そうだ、お客さん
お食事の前に
温泉にでも入つて
らしたらどうです？

う、うん……
そうするかな

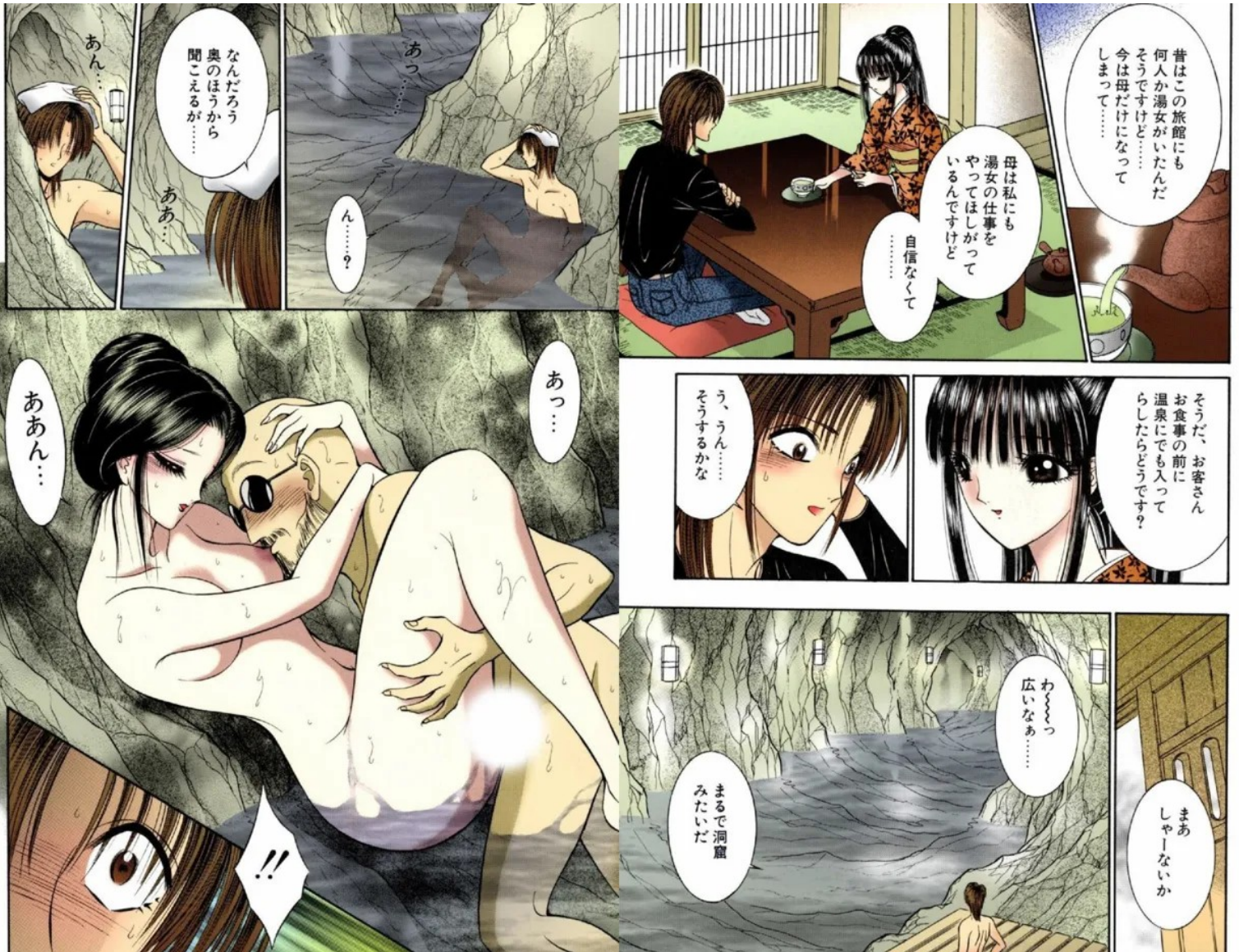
あつ……

ああん……

わくわく
広いなあ……

まるで洞窟
みたいだ

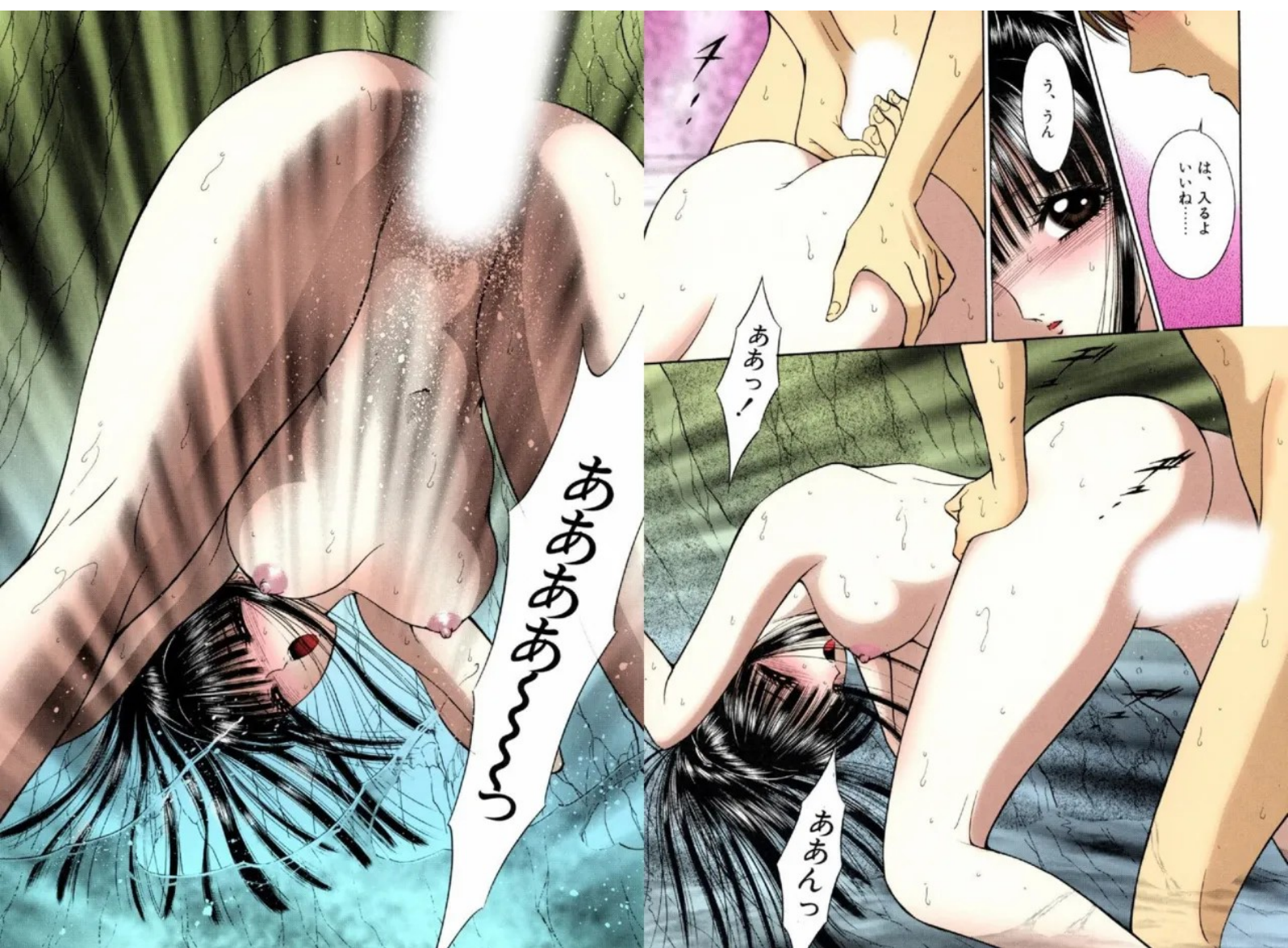
まあ
しゃーないか

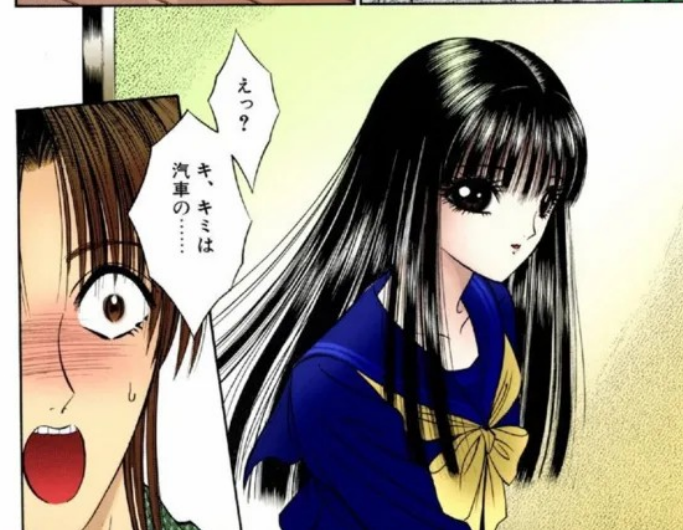
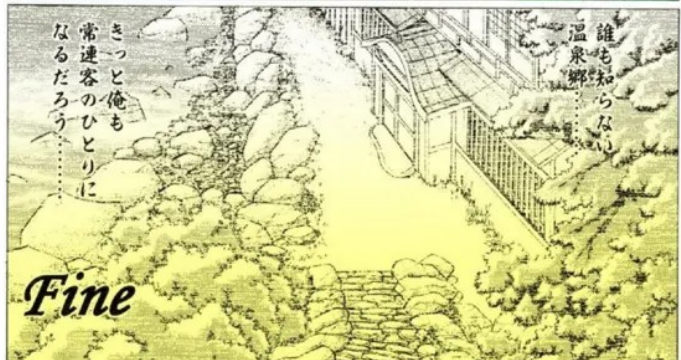
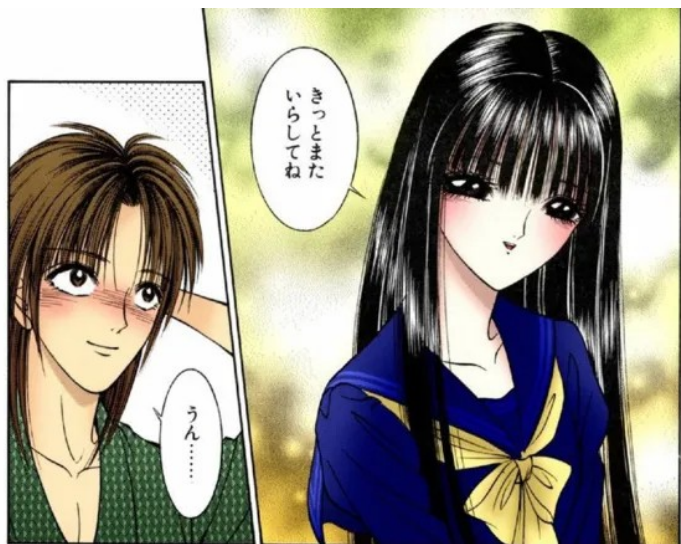




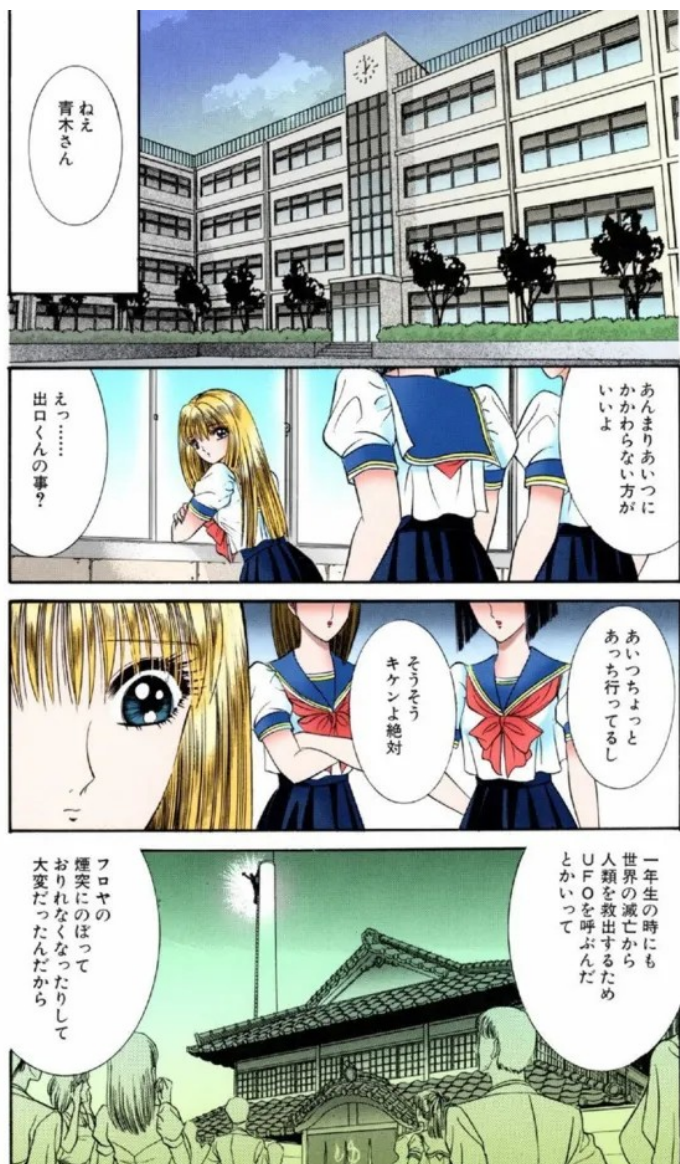










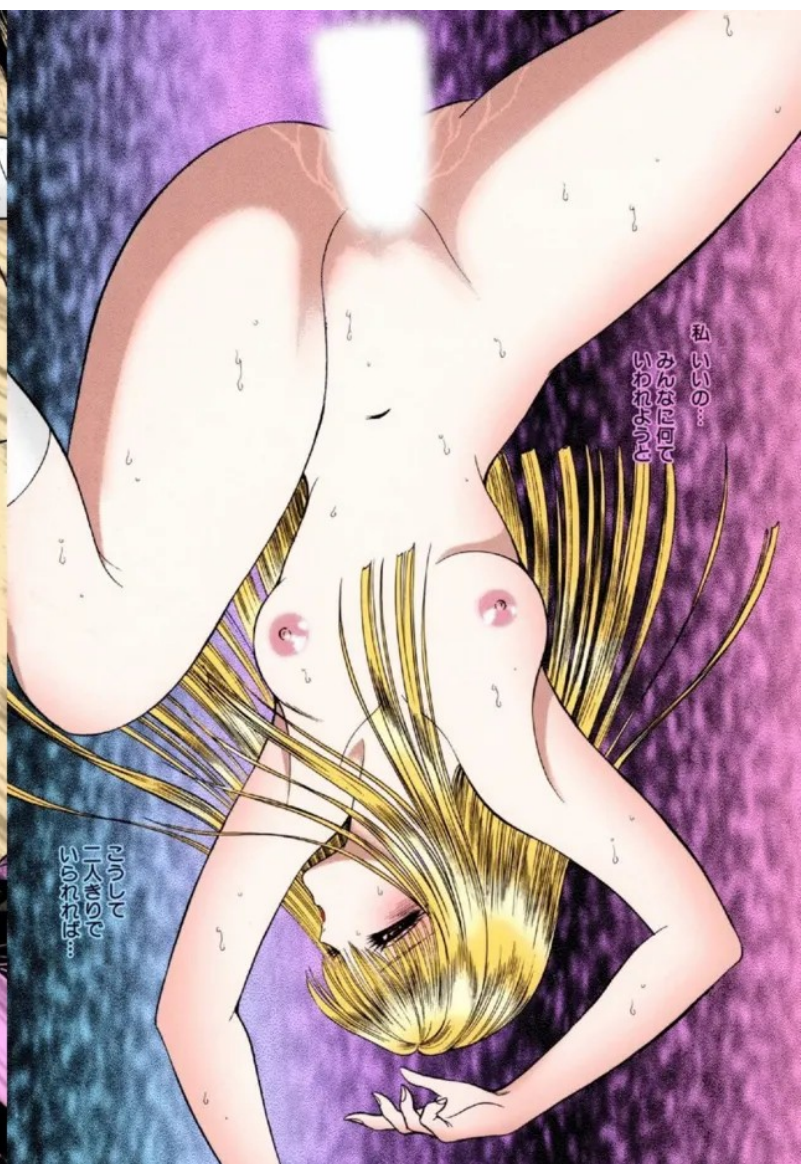














Fine

82













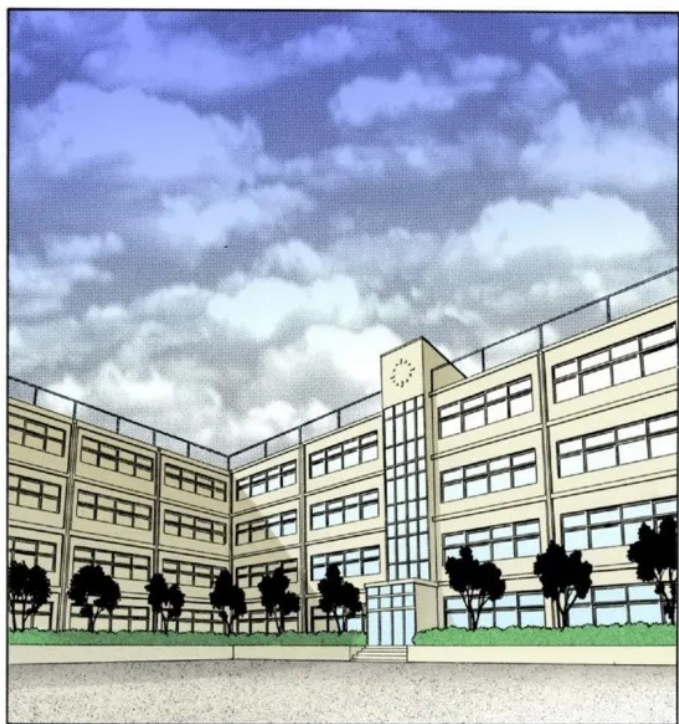






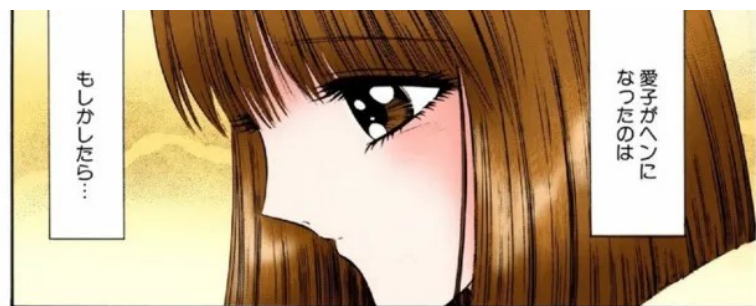
市ヶ谷くん
私のことぜんぜん
気づいてない
みたい……



















そのとき私は



至高の幸福感に
つまれたでした

Fine

迷宮院の少女





カツ
カツ
カツ



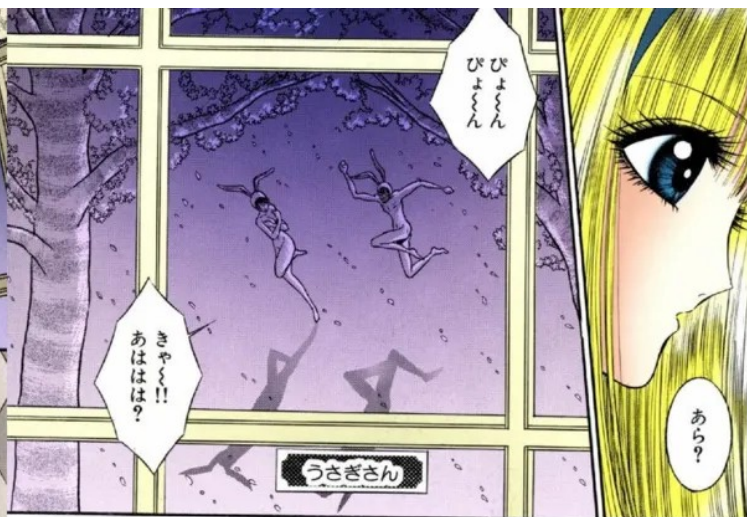
おとなりの
Sさんは
何してるかしら？



開放療養を
はじめてから
こもずいぶん
楽しくなったなあ

そうだ
こんな夜は
こっそり散歩
しちやおつと

ガチャ



びよん
びよん

きやく!!
あははは？

うさぎさん

あら？



そおくら
つかまえたあ!!

ガ
ン

やあんつ!!



PAN
PAN
PAN
PAN

ウサギさんたち
また今夜も
……
昼間はいつも
ポクツと
してるのに

ああんつ











ああ…
たまらないわ

ああんっ



あっああ…
麗華さん!!



ごらんさい
これでも女の子だ
というの!!

やあくっ!!

ほら
こんなに
しちゃってえ

ギクッ

ああんっ



ややめて
麗華さん!!



可愛いわ
あります…





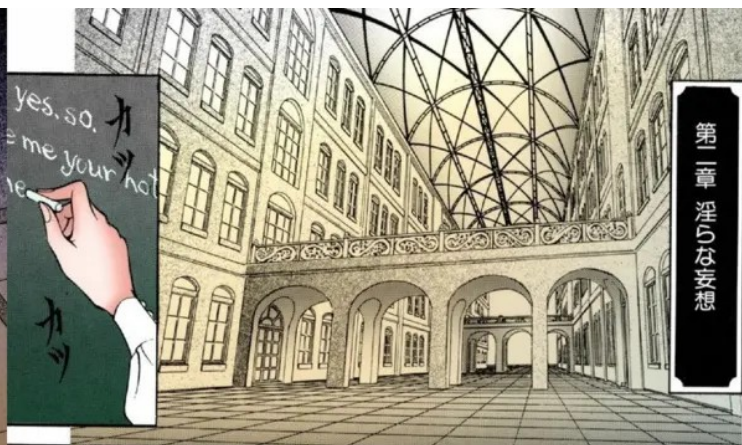
第一章 謎の本



第二章 淫らな妄想



フッフフ……



なあ！
阿部先生って
そそるよな



まりかちゃん
僕たちは
知っているんだ

君がきのう
いけない本を
拾ったことを……

その本を使って
オナニーしていた
事もね……



一度でいいから
やらしてくんない
かなあ……



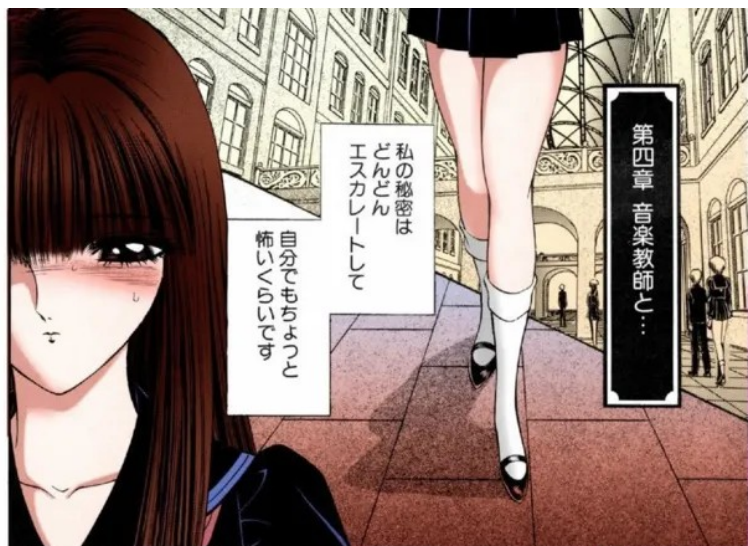
おねがい
誰にも
言わないで！！

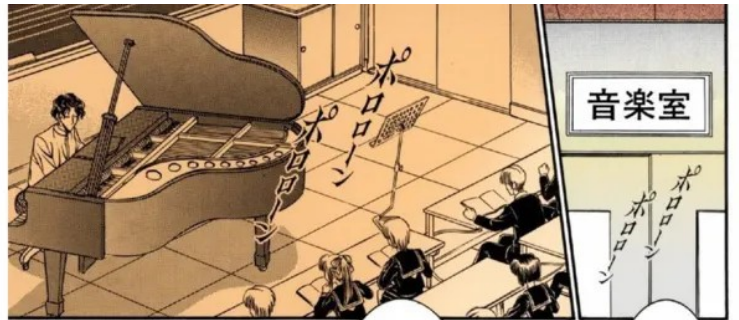
だったら
僕たちのドレイに
なってもらおうよ



ハハハハ……











私の目に
狂いはなかったわ

前からあなたに
目をつけていたの

あなたには
Mの気が
あるってね

あんっ



まさかここまで
ハマるとは
思わなかったわ

阿部先生!!

ごめんなさいね
まりかさん

あのいけない本や
パイプレーターは
私が置いたの



きょうから
あなたは
私のペットに
なるのよ

あ 阿部先生
.....



あなたに
拾ってもらうために
待ち伏せてね

ええ!?



ああ…
これもまた妄想
なのでしょいか

それとも…？

もし
夢だとしても
覚めないでほしい
……

そう
願わずには
いられないの
でした

Fine